

はじめに



連載18

皆さんに正しく伝えたい禁煙の話題

（障子を開けてみよ、外は広いぞ）  
湖西市政目指すべきもの

加藤一晴

浜名医師会・理事

人口6万人の湖西市は静岡県最西端の自治体です。ここはトヨタグループ発祥の地でもあり、開祖の豊田佐吉翁は、無停止杼換式自動織機（G型）など織機機器の発明・研究を通して、豊田紡織や豊田自動織機製作所を創業した偉人です。

業績は素晴らしく藍綬褒章2回、恩賜記念賞、勲三等瑞宝章後に従五位に叙せられましたが、根底には「教育も金もない自分は、発明で社会に役立とう」の想いがあったのかも知



湖西市山口に在る豊田佐吉像（写真上）と  
豊田佐吉記念館（写真下）

れません。

トヨタグループは、大正・昭和・平成・令和と企業生命を継続し、コロナ禍の現在でさえも、世界的に業



績を伸ばしている世界有数の優良企業です。常にグローバルな視点で物事に対処し、タイトルの「障子を開けてみよ、外は広いぞ」を実践しているのです。

## 湖西市民のスタンス

旧湖西市と旧新居町が合併したのは2010年3月。我々浜名医師会は地域住民の健康意識高揚（すなわち喫煙率低下）を目標に掲げました。浜名医師会・歯科医師会・薬剤師会・ロータリークラブ・商工会・社会福祉協議会を介して、第1回浜名医師会市民公開講座「愛する家族を愛する喫煙から守るために」を開催しました。

聴講者は150名でしたが、興味や関心があるだけで、全湖西市民を代表としての参加ではありません。地域住民にとって、「タバコは貴重な財源であり、そこまで悪く言わなくても良いのでは」との雰囲気があったことも事実です。

この手の講演会には、議員・行政

低減を阻害するエリアも完成したのです。

## 風光明媚な潮見坂「道の駅」に――

愛知県と静岡県の県境に「潮見坂」と言う名所があります。徳川家康は、1601年（慶長6年）に「五街道整備」により、五つの街道と「宿」を制定し、街道としての「東海道」を誕生させました。

明治元年（1868年）に明治天皇が江戸への行幸の途中、この砂浜に押し寄せる白波、渺茫たる海原を観て休憩されたそうです。この場所は今では「道の駅」になっており、旅行者やサーファー達に人気があります。

残念ながら昨年夏に、簡易な仕切りで囲まれた喫煙所が設置されました。周囲への受動喫煙被害は考えていません。この喫煙所を利用するのは、旅行者または浜松市や豊橋市に向けてバイパスを利用する人達で、湖西市民が利用することは少ないはず。

関係者・教職員の積極的参加は少数ながらもあるのですが、公人の参加は皆無でした。やはりタバコ問題は、この地でも untouchable（アンタッチャブル）だったのです。

## 残念な湖西市政の認識

実際に静岡県人口動態統計によれば、湖西市民男性の平成20年、25年の統計では、死亡原因はいずれも1位は肺がんでした。自治体から喫煙率を下げようなどのメッセージは見当たりません。更に平成29年度の特健診の習慣的喫煙者（男性）でも、周辺自治体住民よりも高い喫煙率を示しています。

市内の一部の飲食店には未だに灰皿が散見され、昭和時代の「吸わせてもてなす因習」からの脱却ができていません。全国的な傾向として、ニコチン依存症者（喫煙者）の多い自治体行政の、ニコチン親和性は高いのでしょうか。喫煙可能な場所があれば、住民喫煙率は変わることはありませんが、実は昨年夏に喫煙率



愛知県と静岡県の県境にある名所「潮見坂」につくられた道の駅。その一角に喫煙所が設けられている（写真下）。維持管理は、湖西市民の税金が充てられているのだろうか。そうであれば、限られる喫煙者へのサービスは、今の時代に相応しいことではないだろう。



風光明媚な塩見坂近くの砂浜海岸





していく社会保障費とタバコ税収を勘案すれば明確な答えは出ています。

既に世界中でこの取り組みが始まっていますが、湖西市は「障子を開けてみよ、外は広いぞ」の名言を遺した豊田佐吉翁出生の地です。いち早く諸外国の趨勢を感じ取り、企業存続させた輝かしい歴史のある街です。

喫煙容認の現状を打開するには、「勇気と決意」を持って、湖西市政のパラダイムシフトを展開すべきと考えます。既得権益に塗れた抵抗勢力は手強いですが、辻褄の合う令和時代の健康政策を展開するには、市幹部の覚悟が要求されます。

まずは、「障子を開けてみよ、外は広いぞ」に倣って、利用者の極めて少ない「道の駅・潮見坂の喫煙所撤去」から始めることをお勧めします。

湖西市政が不退転の決意で、受動喫煙問題と対峙することで、湖西市民の健康寿命は確実に着実に延びていくことでしょう。

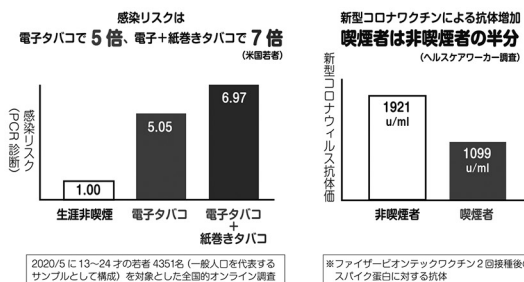
- ### 参考文献
- 1) Guan WJ, et al. Clinical Characteristics of Coronavirus Disease 2019 in China. N Engl J Med. 2020 Feb 28; NEJMoA2002032. doi: 10.1056/NEJMoA2002032.  
喫煙者は人工呼吸器が装着される、あるいは死亡する危険性が非喫煙者の3倍以上
  - 2) Liu W, et al. Analysis of factors associated with disease outcomes in hospitalized patients with 2019 novel coronavirus disease. Chin Med J (Engl). 2020 Feb 28. doi: 10.1097/CM9.0000000000000775  
年齢や基礎疾患（糖尿病、高血圧など）と比べても、重症化の最大のリスク
  - 3) WHO WHO Director-General's opening remarks at the media briefing on COVID-19 (2020年3月20日) <https://www.who.int/dg/speeches/detail/who-director-general-s-opening-remarks-at-the-media-briefing-on-covid-19---20-march-2020>  
世界保健機関（WHO）のCOVID-19対策として「禁煙する」とを強

- く推奨する声明
  - 4) 日本環境感染学会、医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第2版  
マスクをせずに2メートル以内の距離で感染者と数分間過ごすことは、濃厚接触に当たる
  - 5) <https://www3.nhk.or.jp/news/fukui/20200407/3050004398.htm>  
実際に喫煙室での感染が疑われる事例も報道される
  - 6) <https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/citizen/hainojumyo.pdf>  
受動喫煙の有害性については、当学会発行の「肺の寿命の延ばしかた」周囲の受動喫煙をなくす唯一の方法はあなたが禁煙すること
  - 7) <https://news.yahoo.co.jp/byline/ishidamasahiko/20201205-00211089>  
新型コロナウイルス：やはり「タバコ」がヤバかった
- \*パラダイムシフト＝その時代や分野で当然と考えられていた認識、思想、社会全体の価値観など劇的に変化すること。

## タバコと COVID-19 (WHO声明)

WHO statement: Tobacco use and COVID-19 (2020年5月)

### タバコを吸っていると コロナ感染は7倍、ワクチン効果は半分



政令市浜松の健康政策を支援する会が、市民に配布した「新型コロナウイルス感染症について」のリーフレットの一部。喫煙者の感染リスクは、7倍高くなると警告している。

設置費用はともかく、維持管理コストは湖西市民からの税金で賄われると考えられます。時代錯誤の湖西市政の対応は如何なものでしょうか？  
**喫煙率低下により肺がんを激減させた米国から学ばなければならぬ時代です。**これは地元の医師会にとつて看過できないことです。

### コロナウイルス 感染源としての 喫煙所

5波の最中で自治体や医療従事者もより慎重な対応が望まれます。これまでにコロナウイルス感染と喫煙に関して、国内外から様々な報告がなされています1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)。

三密「密閉」「密集」「密接」の場である喫煙室の使用は、感染の危険と隣り合わせで、すでに東京都港区は屋外の喫煙コーナー28カ所を閉鎖しました。喫煙者に向けて、喫煙室・喫煙コーナーの利用を止めることを推奨。更に施設の管理者に対し、早めに喫煙室を閉鎖することを提言しています。そして、周囲を含め、受動喫煙を無くし、コロナ感染から避けるのには、本人が禁煙することと結論づけているのです。

おわりに  
パラダイムシフトを目指そう

津島雄二代議員は旧大蔵官僚を経て、第72代、第85代厚生大臣に就任しましたが、莫大な医療費赤字を目の当たりにして、「従来のタバコ税収で市財政を潤す考えは廃れていく」とコメントしました。日々増加